

のびのび



令和3年度校長室だより 10月6日号

湯田小学校の大切な言葉：あしたも会おうね 温かい学校 ～学び合い～

チャレンジ目標：湯田小ABC

全国学力・学習状況調査の結果を受けて

校長 藤井 智寛

5月27日に6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果が、8月末に公表されました。「全国学力・学習状況調査」は、「教科に関する調査（国語・算数）」と「質問紙調査」からなっており、本校の国語と算数の結果は以下の通りです。

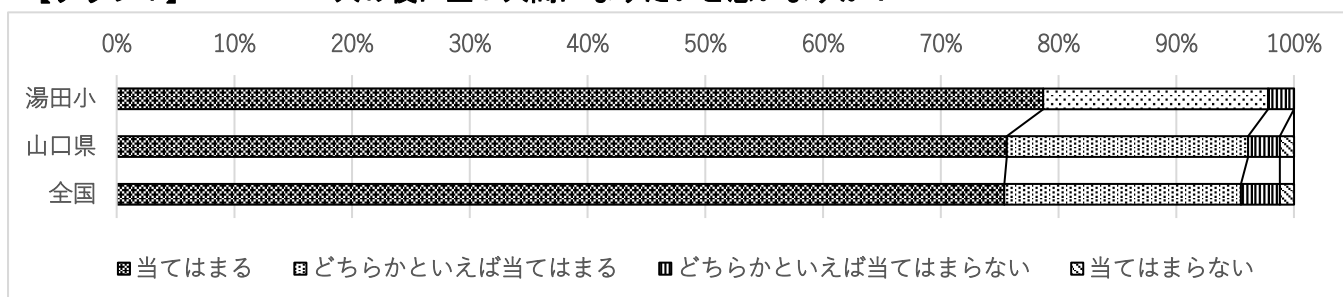
教科	本校平均正答率	山口県平均	全国平均
国語	62.0%	64.0%	64.7%
算数	68.0%	69.0%	70.2%

残念ながらどちらも県平均、全国平均をわずかに下回る結果となりました。ただ、本校では各教科の正答率だけでなく、問題ごとの正答率を県平均や全国平均と比較するなどして子どもたちの得意なところ、苦手なところを分析し今後の学習指導に生かすようすでに取り組んでいるところです。

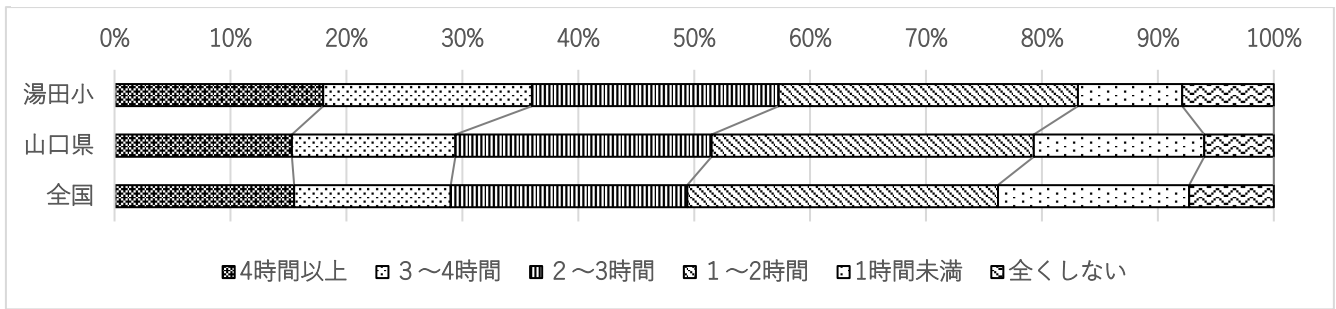
例えば国語では、長文の問題から一部分を見て答える問題はできていますが、問題文をじっくり読み解き筆者の意図を考える問題や条件にあった短文を作る問題などに課題が見られます。算数では、公式をそのまま使うような問題は全国や県よりも正答率は高くなっていますが、問題の考え方を文章や数字・式を使って説明する問題には、県や全国の正答率とやや開きがあります。そのため、試験的にではありますが高学年で課題と思われる部分をまとめたプリントを冊子（10枚程度）にして用意し、隙間時間にそれぞれが取り組めるようにしています。

「教科に関する調査」も大切ですが、「質問紙調査」も非常に重要視しています。それは、69項目からなる質問の回答を見ることで子どもたちの考え方や生活の実態が浮き彫りとなるからです。以下のグラフ1と2を見比べてみてください。

【グラフ1】 人の役に立つ人間になりたいと思いますか？



【グラフ2】 平日に1日どのくらいゲーム（PC、携帯、スマホ などのゲームを含む）をしますか？



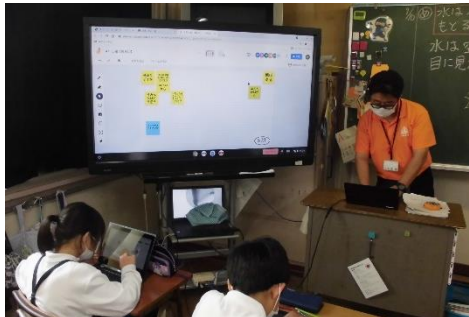
本校の子どもたちは、「人の役に立ちたい」という志の高さは全国や県の平均を上回っています。しかし、日々の中でゲームに費やす時間は全体的に多く、誘惑にあらがえない実態が伺えます。ちなみに、東北大学の川島隆太教授によるとスマホやゲームの時間が長ければ長いほど学力は下がるが、調査の結果 1 時間未満の人と全くしない人の結果にはあまり差がなく、教科によっては 1 時間未満の方が成績がよかったそうです。学習と遊びのけじめをつけられる（コントロールできる）力が、要因ではないかと分析されています。

この調査は、6 年生を対象にしたものですが、学習や生活の傾向を広く実態調査をする必要性を感じています。学校だけではなく、家庭や地域の 3 者がスクラムを組んで子どもたちを育てていくことの大切さ感じます。

9月 学校の様子



夏休み作品展
例年、9月の参観日あわせて開催していましたが、今年度は学級単位で密にならないように見学しました。



Chromebook を使って
一人一台端末の Chromebook はネットでの調べ学習だけでなく、端末を使っての意見交換などの交流もできます。



ゆだ苑での平和学習
6年生はゆだ苑に出かけ、被爆者の方からお話を聞いたり、原爆に関する資料展示を見学したりして平和学習を行いました。

山口県では、家庭の元気応援キャンペーンを展開しています。
10月は「やまぐち家庭教育支援強化月間」です。

- ◆ 基本的な生活習慣を身に付けましょう。
- ◆ 家族がふれあう機会をもちましょう。
- ◆ 手伝いを積極的にしましょう。
- ◆ 父親等の家庭教育への参加を進めましょう。

スローガン

「早寝早起き朝ごはん 本を読んで外遊び みんな仲良く今日も元気」

問い合わせ 山口県教育庁地域連携教育推進室 TEL 083-933-4661



「家庭の元気応援キャンペーン」
マスコットキャラクター
「ファミリン」